

第7期（2020年3月期）決算公告

2020年6月30日

東京都品川区西品川一丁目1番1号  
住友不動産大崎ガーデンタワー  
株式会社アトラス  
代表取締役社長 大橋 修

## 第 7 期 事 業 概 況

自 2019 年 4月 1日

至 2020 年 3月31日

### 事業の経過及びその成果、事業の状況

エンタテインメントコンテンツ事業を取り巻く環境としては、デジタルゲーム分野におきまして、引き続き国内における厳しいモバイルゲームの競争環境が続いております。パッケージゲーム分野におきましては、家庭用ゲーム機市場で現世代ゲーム機の普及が進んだことから、主に海外において、ゲームソフトの販売市場の拡大傾向が続いております。また、新しいプラットフォームやサービスの登場等により、海外におけるダウンロード販売の拡大や新たなビジネスモデルによる収益機会などに期待が高まっております。

このような経営環境のもと、当社は主力パッケージゲームタイトルの発売、ライセンス事業に注力し、業績は好調に推移しました。

パッケージゲーム事業においては、

◇ペルソナ5 ザ・ロイヤル

◇十三機兵防衛圏

◇ペルソナ5 スクランブル ザ ファントム ストライカーズ

を発売し計画を上回る販売に至りました。また、2016年9月に発売した『ペルソナ5』は引き続きリピートを受注し、全世界累計で320万本の販売に至りました。国内はもとより、欧米・アジア市場においても販売計画を大きく上回り、引き続き当社の海外売上シェアは高い水準を維持しております。

ライセンス事業においては、音楽ライブ「PERSONA SUPER LIVE P-SOUND STREET 2019 ～Q番シアターへようこそ～」を2019年4月に両国国技館にて開催し1万人を超える動員に至りました。また、他社の有力なスマートフォンゲームタイトルと当社のIPとの大型コラボレーションに数多く取り組み、ご好評を頂いております。

このような事業活動の結果、当社単体の事業計画上の目標数値を大きく上回り、グループへの利益貢献を果たすことが出来ました。

また、『ペルソナ5』がPlayStation Awards2019にて「25周年記念ユーザーチョイス賞」を受賞、『ペルソナ5 ザ・ロイヤル』がMetacritic(\*) Scoreにて95点を獲得、東京ゲームショウ2019出展の「ペルソナ5 ザ・ロイヤル」「十三機兵防衛圏」の2作品が日本ゲーム大賞2019フューチャー賞を授賞するなど、タイトルの販売数だけでなく作品のクオリティにも高い評価を頂くことが出来ました。

\*映画、ゲーム、テレビ番組、ミュージック・アルバムの評価のレビュー収集サイト

一方で、当社単体の損益は、平成25年11月の事業譲渡に起因し発生した営業権を每期償却しているなどの影響もあり、2020年3月期は損失計上をしておりますが、セガサミーグループの連結決算におきまして収益面で大きく寄与をしております。またバランスシートでは、自己資本比率が87.8%、流動比率が525.0%と財務面の健全性も高い水準を維持しております。

今後もお客様に喜んでいただけるゲームタイトルを開発し、グループ業績にも貢献し続けていくことが当社の使命だと考えております。

## 貸借対照表

(2020年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
<b>流動資産</b>	<b>6,538,819</b>	<b>流動負債</b>	<b>1,246,163</b>
現金及び預金	172,026	買掛金	46,989
売掛金	559,061	未払金	203,734
仕掛品	3,519,714	未払費用	366,619
未収入金	64,137	未払法人税等	45,554
前払費用	22,020	預り金	23,298
関係会社預け金	1,974,528	賞与引当金	333,167
立替金	225,713	前受金	226,800
その他	1,617		
		<b>固定負債</b>	<b>67,486</b>
<b>固定資産</b>	<b>4,199,383</b>	資産除去債務	67,486
<b>有形固定資産</b>	<b>261,742</b>		
建物	241,958		
工具器具及び備品	19,784	<b>負債合計</b>	<b>1,313,649</b>
		<b>(純資産の部)</b>	
<b>無形固定資産</b>	<b>3,788,193</b>	<b>株主資本</b>	<b>9,424,553</b>
ソフトウェア	3,990	<b>資本金</b>	<b>10,000</b>
のれん	3,784,202	<b>利益剰余金</b>	<b>9,414,553</b>
		利益準備金	2,500
<b>投資その他の資産</b>	<b>149,447</b>	その他利益剰余金	9,412,053
敷金及び保証金	20	繰越利益剰余金	9,412,053
繰延税金資産	149,427	(うち当期純損失)	(423,801)
		<b>純資産合計</b>	<b>9,424,553</b>
<b>資産合計</b>	<b>10,738,203</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>10,738,203</b>

## 株主資本等変動計算書

〔 自 2019年4月 1日  
至 2020年3月31日 〕

(単位：千円)

	株主資本					純資産合計	
	資本金	利益剰余金			株主資本合計		
		利益準備金	その他利益剰余金				利益剰余金合計
			繰越利益剰余金				
当期首残高	10,000	2,500	9,835,855	9,838,355	9,848,355	9,848,355	
当期変動額							
当期純利益			△423,801	△423,801	△423,801	△423,801	
当期変動額合計			△423,801	△423,801	△423,801	△423,801	
当期末残高	10,000	2,500	9,412,053	9,414,553	9,424,553	9,424,553	

## 個 別 注 記 表

### 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### (1) 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

個別法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

##### ① 有形固定資産

定額法によっております。

##### ② 無形固定資産

定額法によっております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間である5年間の定額法によっております。

#### (3) のれんの償却方法及び償却期間

のれんは、効果の発現する期間を合理的に見積もり、その年数である10年間の定額法により償却を行っております。

#### (4) 重要な引当金の計上基準

##### ① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討して回収不能見込額を計上しております。

##### ② 賞与引当金

従業員の賞与の支給に備えるため、将来の支給見込額の当事業年度の負担額を計上しております。

#### (5) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

##### ① 消費税等の会計処理方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

##### ② 連結納税制度の適用

セガサミーホールディングス株式会社を連結親法人とした連結納税制度を適用しております。

##### ③ 連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用

当社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

#### (6) 追加情報

新型コロナウイルス感染症拡大による影響を受けて、2020年4月7日に日本においても緊急事態宣言が発令されております。

当社においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が少なくとも6月まで続くものと仮定し、一定の仮定のもと会計上の見積りを会計処理に反映しております。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は不確定要素が多く、翌事業年度の当社の財政状態、経営成績に影響を及ぼ

す可能性があります。

## 2. 株主資本等変動計算書に関する注記

### (1) 当事業年度末における発行済株式の種類及び株式数

種 類	発行済株式の数 (株)
普 通 株 式	10
計	10

### (2) 配当に関する事項

該当事項はありません。

以上